



かさま

No.470

横浜市立笠間小学校

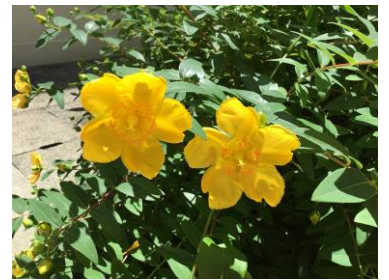
<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kasama/>

校長

心をほぐそう

いよいよ梅雨の季節となりました。5月25日に緊急事態宣言が解除され、笠間小学校でも分散登校が始まりました。教室での密集・密接を避けるため、1, 3, 6年生グループと2, 4, 5年生グループに分け、クラスの人数を半分にしている再開です。久しぶりに登校してくる子どもたちの姿を見て、胸がいっぱいになりました。やはり、**学校の主役は子ども**です。子どもたちがいてこそこの学校だということを実感しています。

登校時は少し緊張している様子も見られましたが、久しぶりに友達と会えたことがうれしかったのでしょう。次第に教室からにぎやかな声が聞こえてきました。休校中の話を聞いてみると、「学校が始まるのを楽しみにしていた。」「友達とたくさん遊びたい。」など、この日を待ちわびていた気持ちが伝わってくる一方で、「お家の人が感染してしまったらどうしようと心配だった。」「外に出るのがちょっと怖かった。」という声も聞こえてきました。新型コロナウイルスについて、連日のように報道されていたことが、子どもたちの心にも少なからず影響しているようでした。



そこで、学校再開第1期の目標を「**子どもたちの心をほぐし、学校生活に対する安心感をもたせること**」と教職員全員で共有し、子どもたちの心のケアを第一に考えることにしました。事前に、学校カウンセラーから子どもたちのサインを見逃さないことや、心をほぐす方法などの研修も受けました。さっそく再開スタートしたばかりの教室を回ってみますと、「読み聞かせ」「拍手リレー」「しりとり」「この2ヶ月でできるようになったこと」「ストレッチ」

「リズム遊び」など、各担任が工夫して様々な活動を行い、一人一人の表情や反応を注意深く見ながら、子どもたちの心に向き合っていました。私も朝会で子どもたちとジャンケン大会をしました。登校日を重ねるにつれ、少しずつ心もほぐれてきたように思います。

今日からは学校再開第2期です。第2期は「**生活のリズムを取り戻し、意欲をもって学習に取り組むこと**」が目標です。休校の間、学校で学習ができなかったことについて、たいへんご心配をおかけしました。前学年のやり残した単元、6月までにやるはずだった単元は、家庭で行った課題を振り返りながら、しっかり学習していきます。また、これから始まる新しい学年の学習では、「**クラス全員だからこそできる学び**」「**友達と考えを出し合うことで深まる学び**」を目指していきたいと思っています。

保護者の皆様には、この間、子どもたちの学習や生活などを支えていただき、感謝申し上げます。また、地域の皆様や見守り隊、栄警察など多くの方が登下校の安全を見てくださり、ありがとうございました。ソーシャルディスタンスは人と人の距離を取りますが、心と心の距離が離れてしまうことがないように、今後もしっかり一人一人に向き合っていきたいと思っています。ご心配や不安なことがありましたら、遠慮なくご相談ください。皆様と一緒に子どもたちを支えていきたいと思っています。

※現在、新型コロナウイルスの飛沫拡散や接触感染の抑制のため、マスクの着用をお願いしているところですが、これからの季節は、熱中症のリスクが懸念されます。そこで**登下校時は、マスクを外してもかまいません**。その際「**人との距離を十分に保つ**」「**なるべく会話をしない**」「**くしゃみや咳をする時は肩口などで口を覆う**」ことを学校でも指導していますが、改めてお子さんにお話いただけますと助かります。また、併せて登下校時は帽子をかぶり、日差しを避けるようお願いいたします。